

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

真庭版DMO「一般社団法人 真庭観光局（仮称）」を中心とした観光地域づくり推進体制支援事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

真庭市及び岡山県真庭郡新庄村

3 地域再生計画の区域

真庭市及び岡山県真庭郡新庄村の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

真庭市及び新庄村（以下「真庭圏域」という。）は岡山県北西部の中山間地域に位置しており、観光入込客数は年間370万人程度（平成28年度独自調査）と岡山県下でも有数の観光地で、観光産業は当圏域の基幹産業の一つであるが、観光入込客数は年々減少しており、その事業推進にあたっては様々な課題を抱えている。

まず、現在の観光プロモーションは、インターネット上のホームページやパンフレット類の配布、真庭圏域外で開催されるPRイベントへの参加など幅広い層へのプロモーションが主になっており、効果的なプロモーションが実施できていない状況である。

真庭圏域に来訪する場合の課題としては、交通手段としてJRや高速バスを利用する場合、それぞれの便数が少なく、観光客の利便性が確保されているとはいえない状況であり2次交通の充実が課題となっている。

当圏域に訪問した時の課題としては、観光事業における拠点施設が無く、案内窓口が一本化されていないため、観光客の多くが有名な観光地のみ集中し圏域の多様な資源を生かした周遊型や体験交流型の観光が実施できていない。また、大半が日帰り観光客であり旅行消費額が低く地域経済への効果が小さいことも課題となっている。

このことなどから、観光関連事業者が連携し、地域住民やあらゆる分野の企業が観光に参加した観光地域づくりを推進していく必要があり、真庭版DMOがその役を担い、事業推進の仕組みを構築させ、人材を育成し、観光事業を効果的に実施していかなければならない。

4-2 地方創生として目指す将来像

真庭圏域は、蒜山高原や湯原温泉、毛無山、がいせん桜通りなど知名度の高い観光地を有し、四季折々の桜、ホテル、紅葉、雪など多様な自然環境に恵まれ、こうした地域資源を生かした観光事業を推進しており、さらに観光事業を推進していくため、平成30年4月に真庭市及び新庄村が加盟する真庭版DMO「一般社団法人 真庭観光局（仮称）」（※以下「真庭版DMO」とする。）を設立することとしている。

真庭版DMOがマーケティングを実施し、ターゲットを明確にしたプロモーションを実施していくことで、観光入込客数の増加を目指すとともに、本圏域の多彩な地域資源を活用した滞在交流型観光を強化することで観光客の滞在時間の延長による消費額の増加で地域経済の活性化を図る。また、宿泊業や飲食サービス業に偏りがちな観光産業について、あらゆる分野の企業や地域住民の参加による真庭観光戦略会議を設置し、農林畜産業や製造業を含めて幅広い産業活動となるよう「観光地域づくり」を推進し、「住んでよし、訪れてよし」の地域を目指す。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30年度 増加分 1年目	H31年度 増加分 2年目	H32年度 増加分 3年目	KPI増加分 の累計
観光入込客数(千人)	3,720	161	174	162	497
旅行消費額(千円)	25	0.75	0.75	0.75	2.25
宿泊者数(外国人宿泊者数)(人)	2,000	1,000	1,000	1,000	3,000
観光産業雇用者数(人)	0	0	5	5	10

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本事業は、真庭版DMOが拠点となり、真庭圏域の観光事業を推進していくものであり、豊富な観光資源、地域資源活かし、結び付け、磨き上げながら、多様な立場の地域住民が力を結集し、ブランドコンセプトに基づく情報発信、滞在交流プログラムの造成を行い効果的なプロモーションをしていくことで国内外からの観光客誘致につなげ地域の活性化を図っていくものである。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

真庭市及び岡山県真庭郡新庄村

② 事業の名称：真庭版DMO「一般社団法人 真庭観光局（仮称）」を中心とした観光地域づくり推進体制支援事業

③ 事業の内容

本事業は、真庭版DMOが真庭圏域における観光事業を推進していくため、課題解決に必要な事業を実施するものである。

・滞在交流型プログラムの企画・実施

観光客の滞在時間を長時間にしていくための滞在交流型プログラムを企画するとともに、マーケティング調査によりニーズを把握し、真庭観光戦略会議におけるワーキンググループで企画・提案されたプログラムなどを商品化し、宿泊型のプログラムも造成していく。

・真庭圏域へ来訪しやすいシステムの構築

圏域での一体的かつ効果的な情報発信を行うため、観光ポータルサイトのリニューアルや観光ガイドブック・ポスターのリニューアルなどを行い、旅行者ニーズに合わせた情報提供を実施するとともに、海外旅行者を取り込んでいくため、海外プロモーション事業を実施し、事業年度後半には外国人旅行者に対応できるスタッフを配置する。

また、真庭圏域への来訪手段が少なく、観光入込客数に影響を及ぼしていることから、モデル事業としてJR岡山駅と真庭圏域を結ぶ直行バスの運行や観光周遊バスの運行を行い、評価をしながら観光客の交通手段を確保する。

効果的な情報発信と二次交通の充実により、真庭圏域へ来訪しやすいシステムを構築する。

・人材育成事業

観光地域づくりを推進していくため、圏域内の意識醸成のためのセミナーの開催や、観光地域づくりマネージャー等を育成していく。

・拠点施設整備事業

真庭圏域への来訪者の観光案内窓口として、最も集客のある蒜山高原地内に拠点施設を整備する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

真庭版DMOが実施するツアー等への参加収入、宿泊施設紹介の手数料、プログラム企画等手数料など自主財源の確保を図り、収益事業を徐々に拡大させていくことで自立を目指す。

【官民協働】

(一社)真庭観光連盟や観光回廊真庭誘客協議会での現在までの取組を基礎に、多様な立場の地域事業者、住民、行政が参画し、真庭版DMOが調整役としてそれらを連携させていくことで、力を結集させ、多彩な地域資源を活かし、結び付け、磨き上げながら、ブランドコンセプトに基づく情報発信、滞在交流プログラムの造成を行う。

【政策間連携】

真庭圏域の基幹産業の一つである観光産業について、マーケティング調査による課題発見、調査に基づく滞在交流プログラムの開発など、多彩な地域資源を活かした取組をDMO組織を中心に地域が一体となって観光地域づくりを推進していくことで、雇用の創出による地域の活性化、関係人口の構築による移住・定住につなげていく。

【地域間連携】

真庭市と新庄村は隣接しており、圏域内の多彩な地域資源を活用した滞在交流型プログラムの企画・実践、広域的なメリットを生かした周遊型の観光を推進し、相乗的な経済波及効果につなげる。また、当圏域は山陰と山陽との結節点に位置することから、そのポジショニングを生かし、岡山市、鳥取県及び島根県との連携による、広域観光、インバウンド対策に取り組み、観光入込客数、宿泊者数及び旅行消費額の増加を図る。

⑤ 重要業績評価指標（K P I）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	K P I 増加分 の累計
観光入込客数(千人)	3,720	161	174	162	497
旅行消費額(千円)	25	0.75	0.75	0.75	2.25
宿泊者数(外国人宿 泊者数)(人)	2,000	1,000	1,000	1,000	3,000
観光産業雇用者数 (人)	0	0	5	5	10

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、3月末時点のK P I の達成状況を真庭市及び新庄村の総合戦略担当部署がとりまとめる。

【外部組織の参画者】

真庭市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に参加した市民会議委員及び有識者、新庄村地方創生推進委員会委員、各自治体の議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

【検証結果の公表の方法】

必要に応じて各自治体の総合戦略や事業方針に反映させる。検証結果は各自治体のホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 123,510 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成 33 年 3 月 31 日（3 ヶ年度）

- ⑨ その他必要な事項
特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 国立公園満喫プロジェクト

事業概要：世界水準の「ナショナルパーク」を実現するために、日本の国立公園のうち、8公園で先行的、集中的に取組が推進される「国立公園満喫プロジェクト」において、大山隠岐国立公園区域に属する本市の蒜山地域でも、環境省、岡山県、民間事業者とも連携し、訪日外国人旅行者の受け入れ環境整備、プロモーション活動などの事業を実施する。

実施主体：環境省、岡山県、真庭市

事業期間：平成 30 年度～平成 31 年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 33 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を真庭市及び新庄村の総合戦略担当部署がとりまとめる。

【外部組織の参画者】

真庭市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に参加した市民会議委員及び有識者、新庄村地方創生推進委員会委員、各自治体の議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	K P I 増加分 の累計
観光入込客数(千人)	3,720	161	174	162	497
旅行消費額(千円)	25	0.75	0.75	0.75	2.25
宿泊者数(外国人宿 泊者数)(人)	2,000	1,000	1,000	1,000	3,000
観光産業雇用者数 (人)	0	0	5	5	10

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

必要に応じて各自治体の総合戦略や事業方針に反映させる。検証結果は各自治体のホームページで公表する。